

QLogic がサーバーベースの SSD キャッシングを 簡素化する新しいアダプター技術を発表

Mt. Rainier プロジェクトは、エンタープライズ・アプリケーションの高速化において業界標準の SSD を活用し SAN に透過的なサーバーベースのキャッシングを提供する画期的な技術です。

ALISO VIEJO, Calif, September 6, 2012—米国QLogic社(NSDQ : QLGC、本社：米国カリフォルニア州、日本事務所：東京都新宿区)は、トップシェアを誇るストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) におけるホストバス・アダプター (HBA) 製品に加えて、業界標準ソリッドステート・ドライブ (SSD) フラッシュ・ストレージをシームレスにサーバー側に組み込む新しいテクノロジーを発表しました。この *Mt. Rainier* プロジェクトはサーバーベース SSD キャッシングの優れたパフォーマンスを SAN ストレージにもたらし、なおかつサーバー単体あるいはクラスター・サーバー環境において I/O を大量に発行するアプリケーションにスケーラブルなパフォーマンスを提供しながらも、実装と管理の手間を簡略化します。

アプリケーションのパフォーマンスは、もはや企業の競争力の重要な差別化要素になっており、顧客満足度やサービスレベル、事業の業績全体に直接影響を与えます。アプリケーションから透過的、つまりアプリケーション側が意識する必要がなく、ストレージ側の環境にも依存しない *Mt. Rainier* は、現状のソリューションが抱える多くの制限を取り払い、サーバーベース SSD によるアプリケーション・パフォーマンスの向上をもたらします。この製品で実現する画期的なイノベーションとは以下のようなものです：

- **実装と管理の簡略化**： *Mt. Rainier* では I/O アダプター、SSD カード、キャッシュ用のドライバーを別々にインストール、管理する必要はありません。OS ごとにたった 1 つの QLogic® ドライバーだけを使用する設計のため、特に複数の仮想マシンやクラスターアプリケーションを稼働させるサーバー上でインストールや管理の手間が劇的に簡略化されます。
- **柔軟なハードウェア・アーキテクチャー**： *Mt. Rainier* は、PCIe フラッシュベースの SSD ストレージカード、業界標準の SAS SSD のどちらでも接続が可能です。
- **アダプターベースのキャッシングと SSD データ管理**： *Mt. Rainier* ではキャッシュ処理と SSD データ管理は、サーバーから *Mt. Rainier* アダプターへオフロードされます。その結果、アプリケーション透過で OS に依存しないサーバーベースの SSD キャッシングソリューションはサーバーリソースを浪費することなく、重要なサーバーアプリケーションのスケーラブルな性能の向上を可能にします。
- **共有されるキャッシュ**：多くのクラスター化されたエンタープライズ・アプリケーションや仮想サーバー環境は、共有ストレージ資源を必要とします。直接接続されたストレージ (DAS) として使用するサーバーベースの SSD ソリューションはこの共有ストレージのメリットを受けることができません。キャッシュされたデータを複数の物理サーバー間で共有することができないからです。 *Mt. Rainier* は共有キャッシングアーキテクチャーを使うことにより、特定のサーバーに括り付けられる従来のサーバーベース SSD のキャッシュモデルの制限を乗り越え、複数サーバー環境での SAN の共有ストレージのメリットを生かしつつ、サーバーベース SSD によるパフォーマンスの向上の恩恵を受けることが出来るのです。

- **高可用性同期ミラーリング**：2つの Mt. Rainier アダプター間の同期ピア・ツー・ピア・ミラーリングはデータ紛失を防ぎ、ミッションクリティカルなアプリケーションに対する高可用性を保証します。

「サーバーのパフォーマンスの向上、仮想マシンのより高密度な実装、アプリケーション・クラスターの成長、ビジネスアプリケーションのより大きな負荷への要求は、サーバー、ネットワーク、ストレージサブシステム間の I/O パフォーマンスの重大なアンバランスを生み出してきました」と QLogic の社長兼 CEO の Simon Biddiscombe は述べています。「Mt. Rainier は、弊社の SAN 市場での高い実績と、ハイパフォーマンス・データセンターの接続性における長年の経験の上で実現され、スケラブルにパフォーマンスを強化するソリューションという新しい分野の製品と言えます。このソリューションは簡単に実装可能で、データセンター内で最もパフォーマンスが要求される環境が抱えるいくつもの問題を解決します」

「現在市場に出回っているキャッシングソリューションでは、SAN HBA、SSD カードそれぞれに別々のデバイスドライバーが必要で、その上キャッシング・フィルター・ドライバーとソフトウェアも必要です」と QLogic の Storage Solutions Group の上級副社長兼ゼネラル・マネージャーの Shishir Shah は述べています。「Mt. Rainier は、ドライバーは従来の QLogic 標準のドライバーを用い、サーバーベースの SSD キャッシングのメリットを SAN ベースのストレージとシームレスに組み合わせられる柔軟なテクノロジーです。当社は既存の SAN ストレージインフラを流用しつつ、業界で標準的に使われる SSD をサーバー内で共有出来る新しい SAN ソリューションのモデルを作り上げました」。

「ストレージのパフォーマンス向上は、データセンターにおいて長年の最も大きい課題のひとつでした」と、Taneja Group のシニアアナリストの Jeff Boles は述べています。「過去2、30年にわたり、SAN ストレージの能力はコンピューターの計算能力の向上のスピードに追いつけずいました。これに対して QLogic の Mt. Rainier は、透過的で共有されたアーキテクチャーにより HBA がサーバーベースの SSD ストレージ上の SAN データをキャッシュするという手法により、サーバーベース・ストレージ・アクセラレーターという新しい技術カテゴリを生み出しました。QLogic の世界的な知名度と、その革新的なアーキテクチャーにより、Mt. Rainier はあらゆるデータセンターにおいて I/O の問題を解決するためのデファクトの選択肢となるでしょう」。

Mt. Rainier のテクノロジーは先ず、ファイバーチャネル SAN へ接続する SAN HBA として実装、管理できるようになります（将来的に 10GbE、iSCSI、FCoE も計画中）。Mt. Rainier プロジェクトに関する詳細は次を参照してください：www.qlogic.com。

【米国QLogic社について】

米国QLogic社 (Nasdaq:QLGC) は、アダプターやスイッチ、ASICなど高性能ネットワークのグローバル・リーダーで、同社のデータ、ストレージ、サーバー・ネットワーク・ソリューション製品は世界の大手OEM/チャネル・パートナーから大きな信頼を得ています。QLogicは、NASDAQ Global Selectに選ばれ、S&P 500にも名を連ねています。詳細はウェブ (www.qlogic.com) をご覧ください。

米国 QLogic 社 日本事務所

〒163-0532 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 32 階

Tel: 03-5322-1358 Fax: 03-5322-1364

【報道関係者からのお問い合わせ先】

米国QLogic社 国内広報事務所

ピーアンドシー株式会社 担当：森田 肇

Tel: 03-5371-1115

Email: morita@pandc.co.jp